

1. 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主
 2. 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主
 3. 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主
 4. 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主

い っ し の か
 お り み
 つ な こ わ
 ね が と れ
 に し こ ら
 あ た と の
 ふ ま か い
 れ え み の
 て ば の る
 た な み こ
 え が 座 え

ず い に を
 い の き
 の り ぼ き
 れ を ら っ て
 た み み あ
 え 座 座 つ
 ず に の き
 ね の ま む
 が ぼ え ね
 い る に に

な か あ す
 が お が べ
 く り な て
 ち と い し
 よ な ぬ り
 し し し
 あ 主 と こ
 ふ に も た
 れ さ に え
 し さ い た
 め げ ま ま
 よ す わ ん

愛する者たちよ。もし心に責められるようなことがなければ、わたしたちは神に対して確信を持つことができる。そして、願い求めるものは、なんでもいただけるのである。

5

聖なる祈り ^{ちから} 力にみつ。
われらの小さき ^ち ^{おも} 思いすべて
神の愛の燃ゆる火にて
^{きよ} 清められん。

6

^{けいけん} 敬虔なもの 一人祈り
神は聞きたもう。 ^き さらに共に
心 ^あ 合わす祈りはなお
^な ^と 成し遂げられん。

7

一つの祈り ここかしこで
^{おとな} 大人と子らに ^{つか} み使いらに
^{せいと} 聖徒らにて 祈られなば
^{つよ} いとも強し。

8

^{しんせい} おお神聖な ^も 祈りの持つ
力を知るや？ その祈りを
^う 受けて人は ^{あま いえ} 天つ家に
^{がいせん} 凱旋せり。

9

^{れい} 霊にてたえず ^{あめ のぼ} 天に昇り
たえざる祈り ^{ささ} 捧げまつれ。
聖徒のため ^{めさ} つねに目覚め
^{つづ} 祈り続けん。

10

^{きよ} ^{ねが} 聖き願いを ^{みざ} 神の御座に
^{ほのお} 炎のごとく ^{のぼ} 昇らしめよ。
^{おの} ^{おも} 己が思い ^{また のぞ} 全く除き
捧げまつれ！

11

^さ 世を去りゆかば ^{みつか} 御使いらと
^わ 和して讃美を 歌わせたまえ。
^{あま} ^{くに} 天つ国の ^{きし やす} 岸に安く
^つ 着かせたまえ。

12

「主よ来たりませ ^{むね} ながみ旨の
すべてを今ぞ ^な 成したまえ」と
^{そな} 備えられて ^{ねが} 願う祈り
^め 主は愛でたもう！

13

^{さいりん} 主の再臨を ^{しと おも} 慕う思い
^{ひごと} ^{あつ} 日毎に熱く ^も 燃やしつづけん。

神はついに 神の国を
^き 来たらせたまう。